

浅田 實先生の経歴と業績

経歴

- 一九三三年一月 京都府京都市生まれ
- 一九五五年 東北大学文学部西洋史学科卒業
- 一九五七年 東北大学大学院文学研究科西洋史学専攻修士課程修了
- 高等学校教諭（愛知県立木曾川高等学校、京都市立伏見高等学校、京都教育大学付属高等学校）
- 立命館大学講師、京都教育大学講師
- 一九七六年九月 富山大学教育学部助教授
- 一九八二年四月 同教授
- 一九八五年四月 創価女子短期大学教授
- 一九八七年四月 創価大学文学部教授
- 以後、人文学科コーディネーター・比較文化研究所長・アフリカ研究センター所長等歴任

一九九五年 文学博士（大阪大学より授与）
二〇〇三年四月 同特任教授
二〇〇五年三月 同退任

業績

著書

『商業革命と東インド貿易』 法律文化社、一九八四年。
『外国史（西洋史）』 創価大学出版会、一九八八年。
『東インド会社―巨大商業資本の盛衰―』 講談社現代新書、一九八九年（韓国語版、二〇〇四年）。
『大英帝国と帝国意識』（共著） ミネルヴァ書房、一九九八年。
『イギリス東インド会社とインド成金』 ミネルヴァ書房、二〇〇一年。

主要訳書

H・バターフィールド 『ウィッグ史観批判―現代歴史学の反省―』（共訳） 未来社、一九六七年。
F・J・フィッシャー 『二六・一七世紀の英国経済』（社会科学ゼミナール五二） 未来社、一九七一年。
E・W・アイヴス編 『シンポジオン 英国革命一六〇〇―一六六〇』（共訳） ミネルヴァ書房、一九七四年。

主要学術論文

「オールダマン・コケイン計画とその背景」、『世界史研究』 第一七号、一九五八年。
「エリザベス朝英国の砂糖」、『風俗』 第五卷第三号、一九六五年。

「アルマダ戦争と英国政府の態度」、『史林』第五〇巻第三号、一九六七年。

「英国商業革命への道」、『西洋史学』第七八号、一九六八年。

「ルイス・ロバーツと航海条例」、『史林』第五四巻第四号、一九七一年。

「ピューリタン革命下共和政権と第一次英蘭戦争」、『立命館文学』第三二四号、一九七二年。

「S・ピープスと『日記』史料—王政復古期研究のための覚書き—」、『イギリス史研究』第二二号、一九七五年。

「第二次英蘭戦争と西アフリカ貿易」、『西洋史学』第一〇二号、一九七六年。

「商業史からみたインド航路の発見」、『富山大学教育学部紀要』第二六号、一九七八年。

「キャラバン香料路と東インド会社」、『西洋史学』第一〇九号、一九七八年。

「黎明期イギリス東インド会社のスラト貿易」、『富山大学教育学部紀要』第二七号、一九七九年。

「一七世紀両東インド会社の香料・胡椒争奪貿易」、『富山大学教育学部紀要』第二八号、一九八〇年。

「東インド会社の木綿輸入貿易」、『富山大学教育学部紀要』第二九号、一九八一年。

「大西洋世界とアメリカ独立革命」、『月刊・歴史教育』第三卷一〇号、一九八一年。

「商業革命とは何か」、『富山大学教育学部紀要』第三一号、一九八三年。

「アフタヌーンティーへの道—蘭英両東インド会社のコーヒー・茶貿易の分析から—」、『創価女子短期大学紀要』創刊号、一九八五年。

“The English Commercial Revolution and the Commencement of Anglo-Chinese Commerce” 『創価経済論集』第一五巻二号、一九八六年。

「一六二〇年代英国の経済不況と平戸商館の閉鎖」、『創価女子短期大学紀要』第二号、一九八六年。

- 「一七世紀マカオの商業的存立とその背景」、『創価経済論集』第一七卷三号、一九八七年。
- 「イギリス東インド会社のオルムズの占領」、『話題源—歴史』東京法令出版、一九八八年。
- 「英蘭戦争期のコロマンデル海岸」、『創価大学人文論集』創刊号、一九八九年。
- 「アジアの海の英人自由貿易商人」、『創価経済論集』第一八卷四号、一九八九年。
- 「奴隷と香料—ポルトガル人の貿易活動—」、『朝日百科 世界の歴史六七』朝日新聞社、一九九〇年。
- 「一七世紀アルメニア商人の活躍—貿易ディアスポラとしての—」、『創価大学人文論集』第二号、一九九〇年。
- 「『三藩の乱』と東インド会社」、『創価大学創立二〇周年記念論文集』、一九九〇年。
- 「A・トインビーと『国際連合』の形成」、『創価大学人文論集別冊・フォーラム人文』第二号、一九九一年。
- 「ファッションの変化と茶文化の定着」、『世界史のしおり』第五四号、帝国書院、一九九一年。
- 「一資料が語る『ネイボップたち』」、『創価女子短期大学紀要』第一二号、一九九一年。
- 「S・フットの『喜劇』とネイボップたち」、『創価大学人文論集』第四号、一九九二年。
- 「征服の功罪とアジア間の変遷」、『創大アジア研究』第一三号、一九九二年。
- 「ベンガル革命と英人自由商人」、『創価大学人文論集』第五号、一九九三年。
- 「インド帝国形成期イギリス人のインド観」、『創大アジア研究』第一四号、一九九三年。
- 「アダム・スミスと東インド会社」、『創価経済論集』第二三卷四号、一九九三年。
- 「ナイジェリア植民地化の歴史」、『創価大学人文論集別冊・フォーラム人文』第五号、一九九三年。
- 「一八世紀後半の国際情勢と東インド会社の状況」、『西洋史学』第一七二号、一九九四年。

「ネイボップの弁明」、『創価大学人文論集』第六号、一九九四年。

「インド人と『ネイボップ』の生活交流」、『創大アジア研究』第一五号、一九九四年。

「『アパルトヘイト』の淵源—南アフリカの歴史に見る—」、『創価大学アフリカ研究センター年報』創刊号、一九九四年。

「一八世紀末イギリスの木綿需要—インド輸入品とランカシャー製品—」、『創価大学人文論集』第七号、一九九五年。

「南アフリカ戦争と黒人の地位」、『創価大学創立二五周年記念論文集』、一九九五年。

「新しい歴史時代を求めて」、『創価大学比較文化研究』第一四卷、一九九七年。

「ガーナと南アフリカ」、『創価大学比較文化研究』第一五卷、一九九八年。

「G・マカートニーとケープ植民地」、『創価大学比較文化研究』第一六卷、一九九九年。

「ナポレオン戦争時代のケープ植民地世界」、『創価大学人文論集』第一二号、二〇〇〇年。

「世紀転換期南アフリカにおける黒人政治運動」（共著）、『創価大学比較文化研究』第一七卷、二〇〇〇年。

「東インド会社と五つの諸法令にみえる帝国」、『創価大学人文論集』第一四号、二〇〇二年。

「A・J・トインビーの人生」から学ぶ（その一）、『創価大学人文論集』第一五号、二〇〇三年。

「A・J・トインビーの人生」から学ぶ（その二）、『創価大学人文論集』第一六号、二〇〇四年。

「A・J・トインビーの人生」から学ぶ（その三）、『創価大学人文論集』第一七号、二〇〇五年。